

通信教育実施計画

【基本情報】

教 科	数学科	科目	数学 I	【○】必修【】選択	単位数	3
担 当 者	木下亜希子		清水 豊		鹿熊 元治	
使用教科書	改訂版 新数学 I 東京書籍					
使用副教材	新数学 I NHK 出版					
スクーリング(S)	義務出席時間数	3	レポート(R)必要提出本数	9	テスト(T)必要合格回数	3
科目の内容 目標等	数と式・2次関数・三角比・データの分析 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

a・b 講座			c・d 講座			e 講座			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限	月日	曜	時限	月日	曜	時限			
5/27	水	2	5/27	水	3	5/13	水	3	文字と式	R1	R1~R3 合格 で6月以降テ スト1受験可能
6/15	月	4	6/8	月	3	7/5	日	5	実数	R2	
7/13	月	2	7/8	水	1	7/13	月	3	方程式と不等式	R3	

全講座対象			スクーリング内容(学習状況により各自選択)					
9/13	日	1	2次関数とそのグラフ	実数	個別指導	R1~R4	R4~R6 合格で9 月以降テスト2受 験可能	
10/14	水	1	2次関数の値の変化	方程式と不等式	個別指導	R1~R5		
11/11	水	4	集合と論証	2次関数とそのグラフ	個別指導	R1~R6		
11/30	月	3	鋭角の三角比	2次関数の値の変化	個別指導	R1~R7	R7~R9 合格 で12月以降 テスト3受験可能	
12/6	日	4	三角比の応用	2次関数とそのグラフ	個別指導	R1~R8		
1/18	月	4	データの分析	2次関数の値の変化	個別指導	R1~R9		

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	6	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	1.2	個別指導	全講座対象	京都八幡高
6/21	日	3.4	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/24	水	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	1.2	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/27	日	5.6	個別指導	全講座対象	京都八幡高
10/21	水	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
12/9	水	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	3.4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/24	日	5.6	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/31	日	3.4	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2、3	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート4、5、6、7、8、9	

【連絡事項】

--

【学習の成果に係る評価規準】 掲載案

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、主体的・計画的かつ熱心に添削課題に取り組む、前向きな姿勢で努力している。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲が見られる。 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程及び考査結果により、科目・単元の目標に沿った、知識・技能が十分に定着、活用することができている。 ・数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考査結果により、知識・技能を応用して、発展的に思考・判断し、表現することができた。 ・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付けている。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。

※評価の規準は以下の通りとします。

A	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。	上記規準について十分満足できると判断できる。
B	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。	概ね満足できると判断できる。
C	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。	努力を要する状況と判断される。

添削課題（レポート）の評価規準

- ・レポートの評価は5段階とします。
- ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出となります。
- ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考査（テスト）の評価規準

- ・30点未満は再考査となります。

面接指導（スクリーニング）

- ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。
- ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	数学科	科目	数学Ⅱ	【 】必修	【 ○ 】選択	単位数	4
担当者	木下 亜希子						
使用教科書	新数学Ⅱ 東京書籍 解答編含む						
使用副教材	新数学Ⅱ NHK 出版						
スクーリング(S)	義務出席時間数	4	レポート(R)必要提出本数	12	テスト(T)必要合格回数	3	
科目の内容 目標等	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解し、基礎的な知識と技能を身に付けるとともに、数学的な見方・考え方を働かせて事象を考察する力を養い、主体的・計画的に学習に取り組む態度を育成する。						

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限			
5/13	水	4	個別指導	R1	R1～R4合格で 6月以降 テスト1 受験可能
5/27	水	4		R2	
6/7	日	2		R3	
7/5	日	3		R4	
7/19	日	2		R5	R5～R8合格で 9月以降 テスト2 受験可 能
9/13	日	3		R6	
10/7	水	1		R7	
10/26	月	2		R8	
11/30	月	1		R9	R9～R12合格で 12月以降 テスト3 受験可 能
12/9	水	3		R10	
12/20	日	5		R11	
1/18	月	3		R12	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	5,6			朱雀高
6/21	日	1,2,3,4			朱雀高 京都八幡高
6/24	水	1			朱雀高
8/30	日	1,2			朱雀高
9/27	日	5,6			京都八幡高
10/21	水	1			朱雀高
11/29	日	5			京都八幡高
12/9	水	4			朱雀高
1/24	日	3,4,5,6			朱雀高 京都八幡高
1/31	日	3,4			朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1～4	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート5～12	

【連絡事項】

--	--	--	--	--	--

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、添削課題に、計画的・継続的に取り組み、十分な内容で提出し、自ら学習を深めようとした。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、意欲的に学習活動に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分・積分について十分に理解し、適切に活用することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考查結果により、数学的な見方・考え方を働かせ、論理的に表現することができた。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、添削課題に継続して主体的・前向きに取り組み、その努力が認められた。 ・面接指導に意欲的に出席することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や公式を理解し、基礎的な計算や問題への解答、数学的処理を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考查結果により、事象を数学的に考察し、考え方や結果を表現することができた。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の取り組みでは、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められた。 ・面接指導の義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や技能の理解が添削課題の学習過程及び考查の結果により不十分であり、努力はみられたが基礎的な計算や問題への解答、数学的処理に課題がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考查結果により、数学的に考察し、表現することに努力は認めるが、不十分であり、課題がみられた。

添削課題(レポート)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出となります。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考查(テスト)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・30点未満は再考查となります。
--

面接指導(スクーリング)

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	数学科	科目	数学Ⅲ	【 】必修 【 ○ 】選択	単位数	3
担当者	木下 亜希子					
使用教科書	高校数学Ⅲ 実教出版					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	3	レポート(R)必要提出本数	9	テスト(T)必要合格回数	3
科目の内容 目標等	極限、微分法及び積分法の基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的な見方・考え方を働かせて課題を解決する力を育成するとともに、自主的・計画的に学習を進める態度を養う。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時 限			
5/13	水	4	個別指導	R1	R1～R3合格で 6月以降 テスト1 受験可能
5/27	水	4		R2	
6/7	日	2		R3	
7/5	日	3		R4	R4～R6合格で 9月以降 テスト2 受験可能
7/19	日	2		R5	
9/13	日	3		R6	
10/7	水	1		R7	R7～R9合格で 12月以降 テスト3 受験可能
10/26	月	2		R8	
11/30	月	1		R9	
12/9	水	3		R1～R9	
12/20	日	5			
1/18	月	3			

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時 限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	5,6			朱雀高
6/21	日	1,2,3,4			朱雀高 京都八幡高
6/24	水	1			朱雀高
8/30	日	1,2			朱雀高
9/27	日	5,6			京都八幡高
10/21	水	1			朱雀高
11/29	日	5			京都八幡高
12/9	水	4			朱雀高
1/24	日	3,4,5,6			朱雀高 京都八幡高
1/31	日	3,4			朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2、3	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート4、5、6、7、8、9	

【連絡事項】

--

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、添削課題に、計画的・継続的に取り組み、十分な内容で提出し、自ら学習を深めようとした。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、意欲的に学習活動に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・極限、微分法及び積分法について十分に理解し、諸問題に適切に活用することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考查結果により、数学的な見方・考え方を働かせ、論理的に表現することができた。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、学習課題に継続して主体的・前向きに取り組み、その努力が認められた。 ・面接指導に意欲的に出席することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や計算方法を理解し、基礎的な問題に取り組み、処理することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考查結果により、事象を数学的に考察し、考え方や結果を表現することができた。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の取り組みでは、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められた。 ・面接指導の義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や技能の理解が添削課題の学習過程及び考查の結果により不十分であり、努力はみられたが、基礎的な計算や問題への取り組み、処理の定着に課題がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考查結果により、数学的に考察し、表現することに努力は認めるが、不十分であり、課題がみられた。

添削課題(レポート)の評価規準

- ・レポートの評価は5段階とします。
- ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出となります。
- ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考查(テスト)の評価規準

- ・30点未満は再考查となります。

面接指導(スクーリング)

- ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。
- ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	数学科	科目	数学 A	【 】必修	【 ○ 】選択	単位数	2
担当者	清水						
使用教科書	改訂版 新高校の数学 A 数研出版						
使用副教材							
スクーリング(S)	義務出席時間数	2	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2	
科目の内容 目標等	場合の数と確率・図形の性質 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。						

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限			
4/27	月	4	集合・順列	R1	R1～R3 合格で 7月以降テスト1 受検可能
6/24	水	3	順列・組合せ	R2	
8/31	月	2	確率	R3	
10/7	水	3	三角形の重心・外心・内心	R4	R4～R6 合格で 12月以降テスト2 受検可能
11/15	日	2	円周角・内接四角形	R5	
1/10	日	1	接線と弦・方べきの定理	R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対象	場所
5/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	6	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	1.2	個別指導	全講座対象	京都八幡高
6/21	日	3.4	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/24	水	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	1.2	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/27	日	5.6	個別指導	全講座対象	京都八幡高
10/21	水	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
12/9	水	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	3.4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/24	日	5.6	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/31	日	3.4	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

--

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	添削課題の取り組みで、数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりすることができている。	添削課題の学習過程及び考查結果により、図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	添削課題の学習過程、考查結果により、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を身に付けている。また、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付けている。
B	添削課題の取り組みで、数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考えようとしたりしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたりしようとしている。	添削課題の学習過程及び考查結果により、図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しようとしている。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を一定身に付けている。	添削課題の学習過程、考查結果により、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を一定身に付けている。また、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を一定身に付けている。
C	添削課題の取り組みで、数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりすることに課題が認められる。また、問題解決の過程の振り返りを行おうとしている。	添削課題の学習過程及び考查結果により、図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的な理解に課題がり、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能も一層の努力を必要としている。	添削課題の学習過程、考查結果により、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力に課題がある。また、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断するためにはより一層の努力を必要としている。

添削課題(レポート)の評価規準

- ・レポートの評価は5段階とします。
- ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出となります。
- ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出とする。

考查(テスト)の評価規準

- ・30点未満は再考查とする。

面接指導(スクーリング)

- ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。
- ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教 科	数学科	科目	数学 B	【 】必修 【 ○ 】選択	単位数	2
担 当 者	鹿熊 元治					
使用教科書	改訂版 新高校の数学 B 数研出版					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	2	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2
科目の内容	数列・統計的な推測					
目標等	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限			
6/7	日	4	個別指導	R1~R2	R1~R3 合格で 7月以降テスト1 受験可能
7/13	月	3	個別指導	R1~R3	
9/13	日	5	個別指導	R1~R4	
11/11	水	2	個別指導	R1~R5	R4~R6 合格で 12月以降テスト2 受験可能
11/25	水	3	個別指導	R1~R6	
12/14	月	1	個別指導	R1~R6	

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	6	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	1.2	個別指導	全講座対象	京都八幡高
6/21	日	3.4	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/24	水	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	1.2	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/27	日	5.6	個別指導	全講座対象	京都八幡高
10/21	水	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
12/9	水	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	3.4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/24	日	5.6	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/31	日	3.4	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート3、4、5、6	

【連絡事項】

--

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	添削課題の取り組みで、数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりすることができている。	添削課題の学習過程及び考查結果により、図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	添削課題の学習過程、考查結果により、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を身に付けている。また、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付けている。
B	添削課題の取り組みで、数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考えようとしたりしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたりしようとしている。	添削課題の学習過程及び考查結果により、図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しようとしている。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を一定身に付けている。	添削課題の学習過程、考查結果により、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を一定身に付けている。また、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を一定身に付けている。
C	添削課題の取り組みで、数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりすることに課題が認められる。また、問題解決の過程の振り返を行おうとしている。	添削課題の学習過程及び考查結果により、図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的な理解に課題ががり、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるために一層の努力を必要としている。	添削課題の学習過程、考查結果により、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力に課題がある。また、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断するためにはより一層の努力を必要としている。

添削課題（レポート）の評価規準

- ・レポートの評価は5段階とします。
- ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出となります。
- ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考查（テスト）の評価規準

- ・30点未満は再考查となります。

面接指導（スクーリング）

- ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。
- ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	数学科	科目	数学C	【 】必修	【 ○ 】選択	単位数	2
担当者	木下 亜希子						
使用教科書	新編 数学 第一学習社						
使用副教材	—						
スクーリング(S)	義務出席時間数	2	レポート(R)必要提出本数	6	テスト(T)必要合格回数	2	
科目の内容 目標等	ベクトル、平面上の曲線及び複素数平面などについて理解し、数学的に表現し処理する技能を身に付けるとともに、事象を数学的に考察し表現する力を養い、主体的・計画的に学習に取り組む態度を育成する。						

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限			
5/27	水	4	個別指導	R1~R3	R1~R3合格で 7月以降 テスト1 受験可能
7/5	日	3			
9/13	日	3			
10/26	月	2		R4~R6	R4~R6合格で 12月以降 テスト2 受験可能
12/9	水	3			
1/18	月	3			

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対 象	場 所
5/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	5,6			朱雀高
6/21	日	3,4			朱雀高
6/21	日	1,2			京都八幡高
6/24	水	1			朱雀高
8/30	日	1,2			朱雀高
9/27	日	5,6			京都八幡高
10/21	水	1			朱雀高
11/29	日	5			京都八幡高
12/9	水	4			朱雀高
1/24	日	5,6			朱雀高
1/24	日	3,4			京都八幡高
1/31	日	3,4			朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2、3	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート4、5、6	

【連絡事項】

--

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、添削課題に、計画的・継続的に取り組み、十分な内容で提出し、自ら学習を深めようとした。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、意欲的に学習活動に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトル・平面上の曲線、複素数平面について十分に理解し、数学的な技能を適切に活用することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考查結果により、数学的な見方・考え方を働かせ、論理的に表現することができた。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、学習課題に継続して主体的・前向きに取り組み、その努力が認められた。 ・面接指導に意欲的に出席することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や計算方法を理解し、基礎的な問題に取り組み、処理することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考查結果により、事象を数学的に考察し、考え方や結果を表現することができた。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の取り組みでは、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められた。 ・面接指導の義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念や技能の理解が添削課題の学習過程及び考查の結果により不十分であり、努力はみられたが、基礎的な計算や問題への取り組み、処理の定着に課題がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程、考查結果により、数学的に考察したり表現したりすることに努力したが、課題がみられた。

添削課題(レポート)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出となります。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考查(テスト)の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・30点未満は再考查となります。
--

面接指導(スクーリング)

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。

通信教育実施計画

【基本情報】

教科	数学科	科目	数学活用	【 】必修 【○】選択	単位数	3
担当者	清水 豊					
使用教科書	世界が面白くなる! 身の回りの数学 あさ出版					
使用副教材						
スクーリング(S)	義務出席時間数	3	レポート(R)必要提出本数	9	テスト(T)必要合格回数	1
科目の内容 目標等	日常生活で活用されている数学について学習する。 数学が身の回りの生活と深い関わりを持つ学問であることを理解する事。					

【年間指導計画(1) 科目スクーリング】

講座全員			スクーリング内容	R 番号	テスト
月日	曜	時限			
5/13	水	4	オリエンテーション・R1 解説	R1	R1~R9 合格で 12月以降 テストI 受験可能
6/7	日	4	個別指導		
6/15	月	2	R2・R3 解説	R2・R3	
7/13	月	3	個別指導		
9/7	月	3	R4・R5 解説	R4・R5	
9/13	日	5	個別指導		
10/4	日	4	R6・R7 解説	R6・R7	
11/11	水	2	個別指導		
11/15	日	6	R8・R9 解説	R8・R9	
11/25	水	3	個別指導		
12/14	月	1	個別指導		
1/18	月	2	映像学習		

【年間指導計画(2) 教科スクーリング】

月日	曜	時限	スクーリング内容	対象	場所
5/10	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
5/24	日	6	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/21	日	1.2	個別指導	全講座対象	京都八幡高
6/21	日	3.4	個別指導	全講座対象	朱雀高
6/24	水	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
8/30	日	1.2	個別指導	全講座対象	朱雀高
9/27	日	5.6	個別指導	全講座対象	京都八幡高
10/21	水	1	個別指導	全講座対象	朱雀高
11/29	日	5	個別指導	全講座対象	朱雀高
12/9	水	4	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/24	日	3.4	個別指導	全講座対象	京都八幡高
1/24	日	5.6	個別指導	全講座対象	朱雀高
1/31	日	3.4	個別指導	全講座対象	朱雀高

【レポート提出締切・留意事項】

	月日	曜	時間	対象レポート	留意事項
一次	12/2	水	21:00	レポート1、2、3	内容不備→受付不可→未提出扱い 内容不十分→再提出不可
最終	2/3	水	21:00	レポート4、5、6、7、8、9	

【連絡事項】

--

【学習の成果に係る評価規準】

	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現
A	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的にレポート提出に取り組む、レポート内の課題にも前向きに取り組む姿勢が認められた。 ・面接指導に積極的かつ計画的に出席し、高い学習意欲がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程において、各単元の学習内容を理解し、知識・技能の定着が十分に認められた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程において、各単元の学習内容を理解し、発展的に思考・判断し、表現することができた。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、主体的に添削課題に前向きに取り組む、その努力が認められた。 ・面接指導に意欲的に出席することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程において、各単元の学習内容を理解し、知識・技能の定着がある程度認められた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程において、各単元の学習内容を一定理解し、思考・判断し、表現することができた。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の取り組みでは、主体性、計画性に課題があり指導を要したが、その努力は認められた。 ・面接指導の義務出席時間数には到達できたが、計画性には課題がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程において、各単元の学習内容を理解し、知識・技能の定着には課題がみられるが、努力は認められた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・添削課題の学習過程において、各単元の学習内容の理解が十分でなく、思考・判断し、表現するためには、さらなる努力を要した。

添削課題（レポート）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの評価は5段階とします。 ・レポートの未記入等の不備、誤答が多い場合は評価「1」とし、不合格、再提出となります。 ・レポートの未記入部分が多いなど、著しく不備な場合は、受付抹消、再提出となります。

考査（テスト）の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・規定字数に従い記入できていない場合や課題内容を理解し表現できていない場合は再考査となります。

面接指導（スクーリング）

<ul style="list-style-type: none"> ・5分以上の遅刻・早退は出席になりません。 ・義務出席時間以上に出席してもかまいません。
